

研究報告書 第298号

確かな学力をはぐくむ教科指導に関する調査研究 (2年次)



平成18年3月

埼玉県立総合教育センター

<調査研究の概要>

目的及び調査研究の視点

学習指導要領に示された内容を確実に身に付けさせ、わかる授業を創造するための指導法の工夫改善について調査研究を行う。限られた時間内に、基礎的・基本的な事項を効果的に身に付けさせる指導の事例を提示する。また、目標に到達しない生徒への手だてとして、補充的な学習の具体的な指導事例や教材・教具を効果的に活用した個に応じた指導の事例等を提示することにより、各学校の確かな学力をはぐくむ教科指導の改善に資する。

調査研究における指導法の改善に迫る視点として（１）習熟の程度に応じた指導の在り方について（２）「努力を要する」生徒への指導（３）教科の目標の一部を取り上げた効果的な指導（４）学習形態を工夫した指導（５）地域の教育力を活用した指導の５つに焦点を絞り、具体的な実践に基づいた指導事例の調査研究を展開した。そして、きめ細かな指導により、自ら学び自ら考える力を身に付ける授業、発展的な学習で、一人一人の個性等に応じて子どもの力をより伸ばす授業、学ぶことの楽しさを体験させ、学習意欲を高める授業等、確かな学力の向上のための特色ある授業づくりを目指して調査研究を進めた。

調査研究の対象校種と教科

調査研究は２年間とし、対象の校種並びに教科は下記のとおりである。

(平成16年度)

小学校	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	
中学校	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	技術・家庭	外国語	

(平成17年度)

高等学校	国語	地歴・公民	数学	理科	音楽	美術工芸	家庭	外国語	
------	----	-------	----	----	----	------	----	-----	--

調査研究の経過概要

	開催期日	内 容
第1回	平成17年 5月13日（金）	調査研究協力委員委嘱状交付 調査研究趣旨説明 「確かな学力をはぐくむために」 総合教育センター 指導主事 遠藤 修平 教科別会議 調査研究の視点、調査研究のすすめ方について協議
第2回	6月～11月に各教科別に計画し、実施した。	第2回調査研究協力委員会 調査研究の視点に基づいた実践事例について研究・協議①
第3回		第3回調査研究協力委員会 調査研究の視点に基づいた実践事例について研究・協議②
第4回		第4回調査研究協力委員会 調査研究の視点に基づいた実践事例・検証授業等のまとめ 調査研究報告の作成

目 次

I 調査研究の概要

目的及び調査研究の視点
調査研究の対象校と教科
調査研究の経過概要

II 資 料

III 各教科の調査研究結果(高等学校)

1	国語	概要 事例 1 事例 2 事例 3 おわりに 要約
2	地理歴史・公民	概要 事例 1 事例 2 事例 3 おわりに 要約
3	数学	概要 事例 1 事例 2 事例 3 おわりに 要約
4	理科	概要 事例 1 事例 2 事例 3 おわりに 要約
5	音楽	概要 事例 1 事例 2 事例 3 おわりに 要約
6	美術・工芸	概要 事例 1 事例 2 おわりに 要約
7	外国語	概要 事例 1 事例 2 おわりに 要約
8	家庭	概要 事例 1 事例 2 事例 3 おわりに 要約

IV 研究協力委員名簿